

# 皆様の協力が必要です

## — 自分づくり教育(中学校における複数日の職場体験活動の実施) —

子供たちの勤労観、職業観を育てるために、中学校において複数日(3日～5日)の職場体験を行う学習です。この実践は平成17年度より、文部科学省が主体となり、厚生労働省、経済産業省等の協力を得て、全国の138の地域において展開されてきました。平成19年度は表のとおり、仙台市内32校(総生徒数4,365名)が実施の予定です。職場体験の機会の確保など社会全体、市民一人ひとりの協力が必要になります。

5日間の実施校	上杉山中, 生出中, 蒲町中, 西山中, 吉成中, 加茂中, 将監東中, 寺岡中, 南中山中, 柳生中
3日間の実施校	第一中, 第二中, 三条中, 五橋中, 中田中, 高砂中, 北仙台中, 中山中, 桜丘中, 中野中, 袋原中, 折立中, 人來田中, 南光台中, 向陽台中, 長命ヶ丘中, 富沢中, 高森中, 住吉台中, 南吉成中, 松陵中, 館中

## 事業所等の皆様へ



## 子供を共に育ててください

生活経験の脆弱化

地域とのつながりの希薄化

異年齢者とかかわる機会の減少

実生活で「学ぶ意味」の実感の希薄化

子供の実態

この活動のねらい

「自分づくり教育」は、人とのかかわりを大切にしながら、児童生徒一人一人の望ましい勤労観・職業観、自立する力をはぐくみ、自分をより豊かに成長させていくとともに確かな学力の向上を図るための教育です。

# 事業所の声

— 17, 18年度の実践にかかわった方々から —

- 最近では「他人の子は他人」という感じがします。子どもたちはみんな育てた方がよいのではないかと思います。
  - 学校、家庭、地域社会全体の意識改革が必要と感じます。
  - 中学生の生活行動がいろいろとニュースになる中で、中学生の素晴らしい面を見ることができ、有意義な時間でした。
  - 中学生の持っている能力や可能性を引き出すのが楽しいと実感しました。
  - 身近にある職場を見て、感じてもらうことで、親が外で働く苦労や思いに触れてもらえると思います。
  - 仕事のイメージと実務の差を知ってもらえるよい機会でした。
  - 子供たちは夢と希望に満ちていて、逆に我々が「初心忘れるべからず」を改めて認識し、社員にとってよい刺激となりました。
  - たとえ中学生でも事前のレクチャーをしっかりすれば、かなりのことができると実感しました。
- ◎ ほめられたこと、認められたことがすごくうれしかったです。
  - ◎ あいさつって、やっぱり大事なんだということが分かりました。
  - ◎ 自分がひとつミスをすると、たくさんのひとに迷惑をかけることが分かりました。
  - ◎ やっぱり人間関係って大切なんだなあと思いました。今の私自身を見つめなおすよいチャンスになりました。

# 生徒の声

# 保護者の声



- 普段見ることのできないわが子の姿に、親も勉強させられました。
- 本人は足手まといになったと感じながらも、働くことと責任について様々なことを感じ取ったようです。この授業を準備して下さった、たくさんの方々に感謝でいっぱいです。

## 生徒にとって

教育活動の見直し  
教員の意識改革

## 家庭にとって

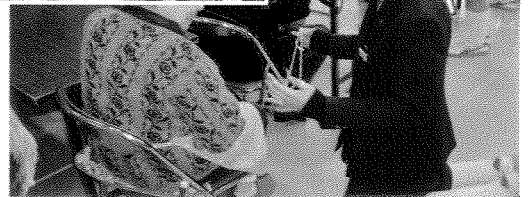
次代を担う人材育成  
社会貢献と企業価値の高揚

勤労観や職業観の形成  
学習意欲の向上  
仕事についての現実的理解  
自己有用感の獲得

## 学校にとって

家族の一員としての新たな自覚  
家庭教育の重要性の認識

## 事業所にとって



御協力いただける事業所の方、この活動に関心を抱かれた事業所の方は下記担当者まで御連絡ください。詳しい資料を御提示するとともに、担当者が御説明にうかがいます。

# その他

## ② 生徒の保険

万が一、生徒が活動中にけが等をした場合、あるいは、事業所の方にけがを負わせたり、物品を破損してしまった場合などに備え、保険を掛けての実施になります。

## ① 事業所への報酬等

この体験活動は、誠に恐縮ですが、報酬がありません。ボランティアにて、受け入れをお願いしております。

仙台市教育委員会  
仙台市教育局学校教育課教育部教育指導課教育課程係  
TEL022-214-8875 FAX022-264-4437

# 「仙台自分づくり教育」の推進について

## 1 「仙台自分づくり教育」が必要とされる背景と経緯

- (1) ニート、フリーター等、社会的な問題
- (2) 「学び」の空洞化、自己完結の問題
- (3) 学校、家庭及び地域の連携と意識改革の問題
- (4) 学校改革の問題

文部科学省  
キャリア教育

総合的な学習の時間 進路指導 職業教育 道德教育 特別活動……

経済産業省  
起業教育

厚生労働省  
ジュニアインターシップ

ネーミングの問題の整理

- 兵庫県(県内全校実施 H10～)
- 富山県(県内全校実施 H11～)
- 京都市(市内全校実施 H12～)
- 福島市(市内全校実施 H16～)
- 栃木県

- ① 自分のことが自分でできるようになる「身辺的自立」
- ② 自分の考えや意見がもてるようになる「思想的自立」
- ③ 自分の行動に責任が持てるようになる「行動的自立」
- ④ 自活する。自分で稼いで喰っていける「経済的自立」

発達段階に応じた「生き方教育」

自己理解 自己啓発 自己教育 自己決定 自己実現 自己評価 自己反省

## 2 仙台市における「自分づくり教育」

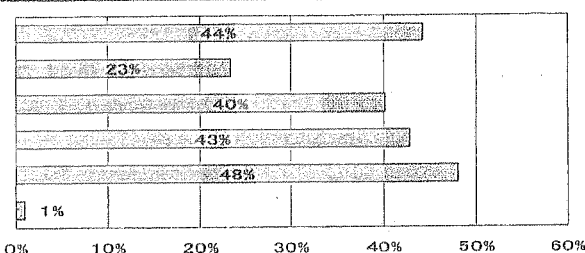
「人とかかわりを大切にしながら、児童生徒一人一人の望ましい勤労観・職業観、自立する力をはぐくみ、自分をより豊かに成長させていくとともに確かな学力の向上を図るための教育」

- (1) 「キャリア教育」と「起業教育」の整理
- (2) 既存の教育活動の重視
- (3) 小・中・高を通じたカリキュラムの作成
- (4) 育てたい能力及び、育てたい能力の具体的な設定

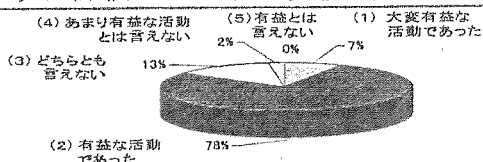
## 3 5日間の社会体験実施後のアンケート結果

Q 社会体験を通して、今の自分自身を見つめて、もっと身に付けなければならない力や能力は何ですか。[生徒]

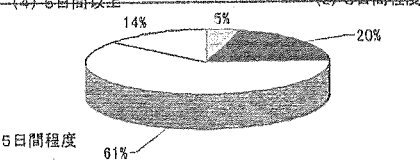
- (1) 教科の学力
- (2) 健康と体力
- (3) 精神力
- (4) 礼儀や言葉遣いなどの礼儀 時間を守るなどのマナー
- (5) 人とかかわる力やコミュニケーション能力
- (6) その他



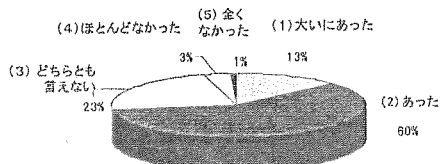
Q 社会体験は家庭や地域との関係から見て、どのように評価されますか。[保護者]



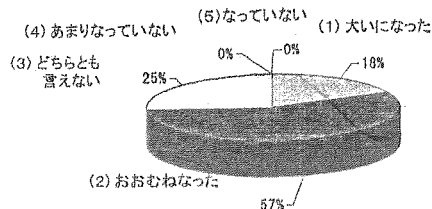
Q 後輩には何日間の体験をすすめますか。[生徒]



Q この活動を通して子供に新たな発見があったか。[保護者]

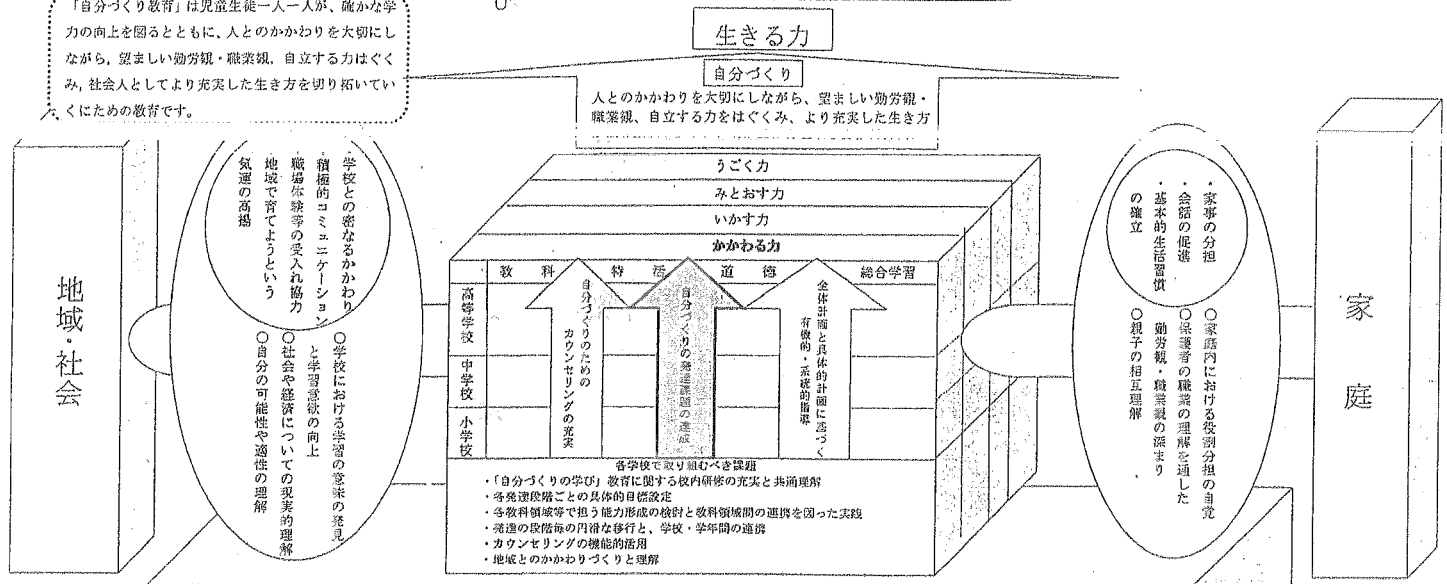


Q 社会体験活動は今後の指導の在り方を見つめ直す機会となったか。[教職員]



# 「自分づくり教育」全体構想図

「自分づくり教育」は児童生徒一人一人が、確かな学力の向上を図るとともに、人とのかかわりを大切にしながら、望ましい勤労観・職業観、自立する力はぐみ、社会人としてより充実した生き方を切り拓いていくための教育です。



○行政の施策  
○支援会議

	かかわる力	いかす力	みとおす力	うごく力
小学校	○自分の職業的な能力・適性を理解し、他者とのかかわりを大切にしながらこれらを伸ばそうとする。 ○多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。	○職業にかかわる権利・義務・責任や職業に就く手続を理解する。 ○多様な勤労観・職業観を理解し、働くことの意義を認める。	○自分の職業的な能力や適性を理解し、社会的役割について自覚し、進んで果たしていく。 ○生きがい・やりがいがあり、自己を生かせる生き方や進路を、自己の意志と責任で選択する。	○目標の基準となる自分なりの価値観や勤労観・職業観を持つ。 ○自分の意志と責任で進路を選択し、結果を受け止める決断に伴う責任を果たす。
中学校	○自分の長みや個性、他者の長みや個性を理解し、他者に配慮しながら積極的に人間関係を築こうとする。 ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで、支え合いながら仕事をこなす。	○生き方や進路に関する情報をさまざまなメディアを通して調査・収集・整理し、活用する。 ○職業体験により、職業の具体的な様子を見直し、学校での学習の必要性等を理解する。	○自分の長みや個性を最大限に生かし、他者と力を合わせながらよりよいものを作り上げようと決意し、これを実行していく。 ○自分の夢やめざす理想を最大限に生かすために必要なことを考えながら、学習や活動に取り組む。	○よりよい生活や学習、生き方を目標として生活の中に積極的に課題を見いだす。 ○課題の解決に積極的・主体的に取り組もうとする。
高等学校	○自分らしさを考えながらも、自分と異なる意見も理解しようとする。 ○異年齢集団活動に積極的に参加し、自分の役割と責任を果たしながら、周囲への貢献について考える。 ○自分や友達のよいところを認め、前向きな気持ちで協力して活動に取り組む。 ○自分の生活を支えてくれる身の回りの人に感謝する。 ○友達と仲良く遊び、助け合う。 ○お礼や返事を怠らぬ。 ○「ありがとう」や「ごめんね」を言う。	○学んだり体験したりしたことと生活や職業との関連を考える。 ○身近な職業・職業の様子やその変化が分かり、自分に必要な情報を探す。 ○いろいろな職業や生き方があることを理解する。 ○係や当番活動に積極的に取り組む。 ○働くことの楽しさを分かち合う。 ○係や当番の仕事に取り組む。その大切さを理解する。	○失敗を恐れず、自分なりの思いや思いを持ち、学習や活動に取り組む。 ○精進を使い、試行錯誤を繰り返して、様々なことに挑戦する。	○他者の意見も大事にしつつ、自分とは何かを考え、目標をもって生活する。 ○生活や学習上の課題に気づき、自分の力で解決しようとする。 ○自分の仕事に対し責任をもち、最後までやり通そうとする。 ○自分のやりたいこと、よいと思うこと、してはいけないことを理解し、よく考え行動する。 ○自分のことは自分でやる。
今後の仙台市としての施策				
○新卒の充実 ○中学校における複数日の社会体験活動実践校の研究推進		○地域や家庭の啓発 ○生徒の手引きの作成と改訂		

## 平成19年度中学校における職場体験活動推進校 実施予定一覧(総生徒数4,655名)

実施予定校	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	生徒数	
8月実施予定校																																	第二中 116 中田中 163 中山中 133 南中山中 137 月小計 554
10月実施予定校																																	第一中 186 上杉山中 158 五橋中 194 蒲町中 195 桜丘中 112 折立中 116 西山中 169 吉成中 89 加茂中 138 将監東中 111 寺岡中 110 高森中 88 田子中 122 住吉台中 134 柳生中 253 館中 138 月小計 2,813
11月実施予定校																																	三桑中 99 高砂中 196 生田中 23 北仙台中 122 中野中 225 袋原中 137 人來田中 56 将監中 241 南光台中 117 向陽台中 125 長命ヶ丘中 55 南吉成中 124 月小計 1,520

※宮沢中(268名)実施時期は1月23日～25日(3日間)